

第 4 9 期

中 間 報 告 書

平成20年 3月16日から
平成20年 9月15日まで



株式会社 **スーパーステール**

株主の皆様へ

株式会社 ス ー パ ー ツ ー ル

代表取締役社長 吉 川 明

株主の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社は平成20年9月15日をもって、上半期を終了いたしましたのでその概況をご報告申し上げます。

営業の概況

当上半期におけるわが国経済は、サブプライム住宅ローン問題を背景とした米国の景気減速、原油をはじめとする原材料価格の高騰等の影響により、企業の設備投資や個人消費に伸び悩みが見られるなど、先行きに対する不透明感は強まる展開となりました。

当業界におきましては、原材料・諸資材の高騰、上半期後半は景気の先行き不透明感が漂い総じて厳しい状況で推移いたしました。

このような経営環境のなかで、当社は「攻めの構造改革」による継続的な企業体質の改善強化のため、生産面におきましては、生産技術面からの洗い直しの徹底を図るとともに社内外との連携による生産体制の強化によりコスト低減と品質の向上に努めました。また、ブランド力の強化と差別化のため新分野向け製品の開発、ニッチ分野製品の開発、既存製品分野を深耕すべくモデルチェンジとシリーズ化に注力してまいりました。販売面では、流通・顧客に対する営業力強化のため販売拠点の充実と地域販売店への積極的な販促活動とアフターメンテナンスの強化によるサービスの向上によりシェアの確保に努めてまいりました。また、今後より一層輸出に注力すべく販売スタッフを増員し新規ルートの開拓、海外展示会への積極的な出展等販売活動の拡大強化を推進してまいりました。

その結果、当中間期の売上高は 2,885百万円(前年同期比9.8%増)となり、損益面につきましては、売上高の伸びおよびコストダウン等でより一層の利益率の向上に努めましたが、経常利益は 420百万円(前年同期比1.2 %減)となり、中間純利益は 245百万円(前年同期比0.7 %減)となりました。

中間配当のご報告

株主の皆様への利益還元につきましては、業績に応じた利益配分を基本方針とし、経営環境、安定的な経営基盤を確保するための内部留保を勘案して方針の決定を行っております。

また、内部留保金につきましては、財務体質の強化をはかりながら、新たな成長につながる投資に充当する所存であります。

この方針に基づき、中間配当につきましては、1株につき8円とさせていただきます。年間配当額は、16円を予定しております。

部門別の概略は次のとおりです。

[作業工具部門]

当部門のレンチ類と配管工具類は、公共事業の減少に伴う土木・建設関連産業の停滞と民間需要のマンション建設の頭打ち等により、国内市場におきましては苦戦を強いられました。海外市場におきましては、アジア市場での需要の拡大により、主力のラチェットレンチをはじめレンチ類、配管工具類は、順調に売上高を伸ばしました。プーラ類は、自動車・工作機械関連産業の低迷の影響を受け、伸び率は鈍化しました。その結果、当作業工具部門の売上高は 1,682百万円(前年同期比7.5%増)となりました。

[産業機器部門]

当部門の吊クランプ類は、国内市場におきましては、自動車・建設機械産業の停滞はありましたが、反面造船・重機等への需要や海外市場においてシリーズ化による機種拡大、アジア市場・欧州市場での販路の開拓策の効果により、売上高を大幅に伸ばしました。クレーン類は、短納期化でのコスト低減と販促策で伸ばしましたが、治工具類は、工作機械への設備投資の停滞もあり売上高は微増でした。その結果、産業機器部門の売上高は 1,189百万円(前年同期比13.2%増)となりました。

今後の見通しといたしましては、わが国の経済は、米国サブプライムローン問題に端を発する金融不安、円高・株安の進行により、企業収益や個人消費に与える影響が懸念され、国内景気は引き続き不透明な状況が続くものと予想されます。

このような状況のもと、商品グループの徹底強化をはかり、時代の流れに沿った販売戦略を軸に、全世界に向かって「売れるものを開発、生産する、売れるところに特化する」をテーマにした製品づくりと販売体制の構築に全力をあげるとともに、コンプライアンスの重視と透明性の高い企業経営に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、何卒今後のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

中間財務諸表

中間貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当中間期末	前中間期末	前 期 末
	(平成20年 9月15日現在)	(平成19年 9月15日現在)	(平成20年 3月15日現在)
	金 額	金 額	金 額
(資産の部)			
流動資産	3,612,792	3,507,054	3,487,490
現金及び預金	836,467	858,407	799,073
受取手形	205,713	220,108	170,161
売掛金	567,918	519,260	551,281
たな卸資産	1,948,306	1,842,266	1,902,213
繰延税金資産	42,189	54,225	57,107
その他	12,197	12,787	7,653
固定資産	5,940,542	5,907,995	5,885,518
有形固定資産	5,121,920	5,102,204	5,083,148
建物	389,056	410,275	400,972
機械及び装置	417,989	385,860	379,396
土地	4,171,371	4,171,371	4,171,371
その他	143,502	134,697	131,408
無形固定資産	6,053	6,047	5,877
投資その他の資産	812,569	799,743	796,492
投資有価証券	553,723	520,355	513,112
繰延税金資産	112,066	132,248	136,297
その他	148,608	149,436	149,365
貸倒引当金	1,829	2,297	2,282
資 産 合 計	9,553,334	9,415,049	9,373,008

(注)有形固定資産の減価償却累計額 3,839,867千円

(単位：千円)

科 目	当中間期末	前中間期末	前 期 末
	(平成20年9月15日現在)	(平成19年9月15日現在)	(平成20年3月15日現在)
	金 額	金 額	金 額
(負債の部)			
流動負債	2,184,588	2,179,678	2,139,193
支払手形	375,581	350,827	345,187
買掛金	231,845	199,522	214,085
短期借入金	1,094,906	978,672	1,029,074
1年内償還予定の社債		140,000	20,000
未払金	274,152	252,112	270,270
未払法人税等	134,214	190,130	188,188
賞与引当金	59,000	53,400	60,000
その他	14,889	15,012	12,385
固定負債	2,203,338	2,092,215	2,190,436
社債	100,000	100,000	100,000
長期借入金	358,948	312,754	268,366
長期未払金	127,991		
土地再評価に係る繰延税金負債	1,359,280	1,359,280	1,359,280
退職給付引当金	217,419	280,481	252,713
役員退職慰労引当金			170,377
その他	39,700	39,700	39,700
負債合計	4,387,927	4,271,894	4,329,629
(純資産の部)			
株主資本	3,599,355	3,494,888	3,451,675
資本金	1,463,274	1,463,274	1,463,274
資本剰余金	461,871	461,697	461,697
利益剰余金	1,771,995	1,635,689	1,593,119
自己株式	97,784	65,772	66,414
評価・換算差額等	1,566,051	1,642,110	1,591,703
その他有価証券評価差額金	90,453	14,395	64,801
土地再評価差額金	1,656,505	1,656,505	1,656,505
新株予約権		6,156	
純資産合計	5,165,407	5,143,155	5,043,379
負債及び純資産合計	9,553,334	9,415,049	9,373,008

中間損益計算書

(単位：千円)

科 目	当 中 間 期	前 中 間 期	前 期
	(自平成20年3月16日 至平成20年9月15日)	(自平成19年3月16日 至平成19年9月15日)	(自平成19年3月16日 至平成20年3月15日)
売上高	2,885,666	2,628,540	5,108,871
売上原価	1,918,521	1,698,010	3,329,398
売上総利益	967,145	930,530	1,779,473
販売費及び一般管理費	498,671	487,055	978,680
営業利益	468,474	443,474	800,792
営業外収益	11,306	40,791	53,947
営業外費用	59,577	58,938	113,004
経常利益	420,203	425,326	741,736
特別利益	2,013	470	485
特別損失	608	1,335	174,837
税引前中間(当期)純利益	421,608	424,461	567,384
法人税、住民税及び事業税	129,377	185,092	311,925
法人税等調整額	46,274	8,342	16,772
中間(当期)純利益	245,955	247,711	272,231

(注) 1株当たり中間(当期)純利益 当中間期 29円49銭 前中間期 29円73銭 前期 32円57銭

中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	当 中 間 期	前 中 間 期	前 期
	(自平成20年3月16日 至平成20年9月15日)	(自平成19年3月16日 至平成19年9月15日)	(自平成19年3月16日 至平成20年3月15日)
営業活動による キャッシュ・フロー	154,152	186,006	424,696
投資活動による キャッシュ・フロー	154,896	18,644	133,150
財務活動による キャッシュ・フロー	38,138	76,066	259,585
現金及び現金同等物の 増 減 額	37,394	91,294	31,960
現金及び現金同等物の 期 首 残 高	799,073	767,112	767,112
現金及び現金同等物の 中間期末(期末)残高	836,467	858,407	799,073

中間株主資本等変動計算書

当中間期

(自平成20年3月16日
至平成20年9月15日)

(単位：千円)

科 目	株 主 資 本				
	資 本 金	資本剰余金	利益剰余金	自 己 株 式	株主資本合計
平成20年3月15日残高	1,463,274	461,697	1,593,119	66,414	3,451,675
中間会計期間中の変動額					
剰余金の配当			67,079		67,079
中間純利益			245,955		245,955
自己株式の取得				31,542	31,542
自己株式の処分		174		171	346
株主資本以外の項目の 中間会計期間中の 変動額（純額）					
中間会計期間中の変動額合計		174	178,876	31,370	147,680
平成20年9月15日残高	1,463,274	461,871	1,771,995	97,784	3,599,355

科 目	評 価 ・ 換 算 差 額 等			純 資 産 合 計
	その他有価証券 評価差額金	土 地 再 評 価 差 額 金	評価・換算差額 等 合 計	
平成20年3月15日残高	64,801	1,656,505	1,591,703	5,043,379
中間会計期間中の変動額				
剰余金の配当				67,079
中間純利益				245,955
自己株式の取得				31,542
自己株式の処分				346
株主資本以外の項目の 中間会計期間中の 変動額（純額）	25,651		25,651	25,651
中間会計期間中の変動額合計	25,651		25,651	122,028
平成20年9月15日残高	90,453	1,656,505	1,566,051	5,165,407

会社の概況（平成20年9月15日現在）

設立 昭和35年12月10日（創業 大正7年）

資本金 1,463,274,000円

主要な事業内容

(1) 作業工具・産業機器の製造・販売

部 門	製 品 群	主 要 製 品 名
作業工具部門	レンチ・スパナ・ブライヤ類	ラチェットレンチ、めがねレンチ、モンキレンチ、シヤコ万力、緊結金具、スナップリングブライヤ、グリップブライヤ、ウォーターポンプブライヤ、ブライヤ、ペンチ、ニッパー、ソケットレンチ類、長ねじカッター、スーパーカッター
	配管工具類	スーパートング、パイプレンチ、ベルトレンチ、チューブカッター、パイプカッター、ベアリング入チューブカッター、チューブベンダー、油圧式パイプベンダー、フレアリングツール、ツバ出し工具、チューブリマ、モーターレンチ、クイックレンチ、塩ピカッター、フレボリカッター、パイプ挿入機
	ブーラ類	ギャブーラ、パワープーラ、アマチュアベアリングブーラ、ベアリングブーラ、セパレータ、プッシュブーラ、ショックスピードブーラ、自動車用ブーラ、スライドブーラ、油圧ブーラ、ギャブーラオートグリップ型
産業機器部門	治工具類	治具ブロック、治具プレート、精密バイス、平行台セット、マグネット付平行台セット、精密バラレル、クランピングツール、クランプパーツ、スクリューサポート、切削式・転造式ローレットホルダー、ローレット駒、マイクロエアグラインダー、超硬バー、バイトホルダー、各種バイト、その他各種ツール
	吊クランプ類	〔鋼材用〕立吊クランプ、横吊クランプ、形鋼クランプ、スクリューカムクランプ、スーパーロックフック、吊フック、ドラムリフトクランプ、矢板抜クランプ、コラム吊クランプ、鉄筋立吊クランプ、ビームクランプ、各種天秤、コイル吊クランプ、その他特殊吊クランプ 〔コンクリート2次製品用〕U字溝吊クランプ、間知ブロックまとめ吊クランプ、各種コンクリート2次製品用吊クランプ 〔ハウジング用〕パネル吊クランプ、木質梁専用吊クランプ、2×4パネル専用吊クランプ、ALCパネル・押出成形板吊クランプ
	クレーン類	ジブクレーン（床固定式、柱取付式、移動式、移動伸縮式）、荷重センサー付クレーン、ポータブル門型クレーン、フリークレーン、マルチクレーン、クリーンルーム仕様クレーン 〔特殊クレーン〕 天井走行フォークリフト型クレーン（ワークスライダー）、天井走行型クレーン、壁面走行型クレーン
	マグネット類	〔サニタリー用〕 高磁力マグネットバー、超高磁力マグネットバー、高磁力マグネットバー（二重管） 〔工作機械、工場用〕 マグスラッジクリーナー、マグバー、マグベンパー、標準型マグネット棒

(2) 不動産賃貸事業

主要な事業所

本社・工場	〒599-8243	大阪府堺市中区見野山158番地
大阪支店	〒599-8243	大阪府堺市中区見野山158番地
東京支店	〒142-0041	東京都品川区戸越3 4 18
名古屋支店	〒460-0026	名古屋市中区伊勢山1 2 4
札幌営業所	〒003-0029	札幌市白石区平和通3丁目北4 20
新潟営業所	〒950-0855	新潟市東区江南2 6 2
福岡営業所	〒812-0016	福岡市博多区博多駅南3 10 23
広島営業所	〒733-0012	広島市西区中広町2 14 27

役員（平成20年9月15日現在）

代表取締役社長	吉川明
常務取締役（管理本部長）	篠畑雅光
取締役（東部統括部長）	辰己宏
取締役（西部統括部長）	大久保勲
常勤監査役	松本龍実
監査役	竈和夫
監査役	弓岡隆巳
監査役	森田茂

（注）監査役弓岡隆巳、森田茂は会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

株 主 メ モ

事業年度	毎年3月16日から翌年3月15日まで
定時株主総会	6月
基準日	期末配当 3月15日 中間配当 9月15日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒530-0004 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 0120-094-777 (通話料無料)
同 取 次 所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店 株式関係のお手続用紙のご請求は、次の三菱UFJ 信託銀行の電話およびインターネットでも24時間 承っております。 電話(通話料無料) 0120-244-479 (本店証券代行部) 0120-684-479 (大阪証券代行部) インターネットホームページ http://www.tr.mufg.jp/daikou/
公 告 方 法	電 子 公 告 ただし、事故その他やむを得ない事由により、電子 公告による公告をすることができない場合は日本 経済新聞に掲載して行う。
単 元 株 式 数	1,000株